

若者等活動拠点施設整備に向けた検討会(平成30年度第4回)結果報告

日時 平成30年8月20日(月) 午後7時00分～8時30分

場所 高山市役所 3階行政委員会室

出席者 検討メンバー 18名

事務局(高山市企画課、文化財課、建築住宅課)ほか 6名

内容

1. あいさつ(開会) 北村課長

- ・設計業者に現地調査等してもらったなかで、従来の方針では歴史的価値の保存が難しいことが分かり、整備の方向性を見直すための時間を約2か月いただいた
- ・本日の意見交換により共通認識の形成が図られれば、議会等へも説明するなど進めていきたい

2. 内容

(1)検討会休止中の主な出来事について

(2)整備の方向性について

資料に基づき説明ののち、全体での質疑応答を行った

メ:検討メンバー、事:事務局

メ:現在は土間の土蔵を板張りにする案だが、歴史的価値をどう捉えているのか

事:以前は板張りだったものを土間にしている痕跡があり、復元として問題ないと考えている

メ:その文化財的価値の評価は市の意見か

事:文化財課としても市関係課の協議に加わり、価値観を共有し、今回の提案としてまとめたもの

メ:外部の方の評価はどうであったか

事:例えば、座敷や茶室まわりの建具、欄間、仕上げは価値が高いと有識者は評価された

メ:別紙1-2の補強計画はどちらで向かうのか

事:目標値を満足させるように補強した場合、欄間や建具など歴史的価値を棄損するため、上の図のようにできる限り耐震性を高める方向で進めたい

メ:母屋(別紙3の緑色部分)の最大収容人員は想定しているか、今後、消防等に示す必要がある

事:今のところ、多くても20～30名程度と考えている

メ:緑色部分以外のところ、例えばイベントを行う際は50名などの規模で考えていいのか

事:具体的な想定はしていないが、それ位は可能と考える

メ:以前に、地域の暮らしを乱さないため、大人数を受入れたり、バザー等はやらないと決まったはず

事:食堂やレストランを常時行ったり、宿泊施設とすることは無いとは決めたが、バザーをやらないという決めはしていない。地域の方に許される範囲で、音楽やバザー等を含むイベントもやらせてもらいたいという認識である

事:夏祭の露天商のような店をすることは無いが、例えば大学生のチャレンジショップ、工業高校の作品や高山高校の開発商品や農産物などの販売は、やらせてもらいたい

メ:販売は、上二之町のまちの体験交流館の方が適しているのでは。どのように使い分けるのか

事:まちの体験交流館でも物販やイベントはできる。ただし、若者を主眼とした旧村田邸ですること
に意味があるとか、旧村田邸の他の機能と連携するとか、メインの事業に物販も付随するなど、
事業の目的や性質に応じ、適した会場を選択することで理解いただきたい。物販を含む事業
は全てまちの体験交流館という整理ではない

事:旧村田邸を使って、物販を主とした事業は考えていないが、物販もできるような柔軟性を持たせ
たい

メ:旧村田邸の建物の雰囲気の中かでしかできないことを考えてもらいたい

メ:若い人が利用し易い、運営方法や仕組みは何か考えているか

事:管理者が誰かによって利用者の意識も変わるため、利用し易い方法を考えていきたいと思っ
ている

土蔵をできるだけフレキシブルにすることによって、様々な人に使ってもらえるようにしたい
煥章館では談話できないが、旧村田邸ではくつろいだり話したりしながら学習できるような場所
も設けたい

メ:食ゾーンの、土間、井戸、竈とあるのはどういう意味か

事:水色の丸印の位置に井戸が見つかったため、土間に戻し、竈も作り、昔の台所に復元してはと
いう提案である

メ:根本的に何をしたいのか。人を集めたいのか、歴史的な建物を残したいのか、収益を上げたい
のか

事:収益は考えておらず、建物価値は残したい。建物をただ保存するのではなく、市民等に建物の
良さを見たり感じていただくとともに、若者の活動場所として使ってもらいたい

メ:住民向けか観光客向けか、どちらの施設か

事:市民が使う割合が多いが、外からの大学生の研究などにも使ってもらいたいと思っている

メ:歴史文化に魅力を感じた若い人に移住してもらったり、住み続けてもらったり、最終的な目標は
あるのか

事:そのような心が旧村田邸から芽生えてもらえば、一番良いと考えている

メ:それならば外部の高校生に聞くよりも、先にやることがあったのではないか。地域の要望に応え
た施設整備の方が、ニーズに合うのでは

事:色々な所へ声をかけている

メ:声をかけるのではなく、相手から求められることはないのか。求めがないのに施設を作っては、
永続的に使われると思えない。まちの体験交流館も、現状ではあまり人が入っておらず、あんな
っては欲しくないと感じる

事:できるだけ利用されるようになればと思っている

メ:県外の高校生のワークショップの内容は

事:まずは地元として、斐太高校スーパーグローバルハイスクールの取組みで2年生約40名に若
者に魅力あるまちづくりとして、旧村田邸の活用を含め研究いただいており、市と一緒にお試し
イベント等もできないか声をかけている

HIDAKKO-PROJECTの中心メンバーとも、同様の主旨でやり取りをしている

市内の全小中学校にも、公共施設としては未完成だが、まち歩きなどで使って意見をもらえな
いかと呼びかけを行った

旭丘高校は毎年合宿に来ており、県外高校生の意見も聞きたいため事業の紹介とともにワーク
ショップや現地見学などを行ってもらったもの

メ:HIDAKKOの皆さんと話すなかで、実現しそうなことはあったか

事:現地見学の後、質疑をメールでやりとりしている段階で、具体的な提案等には至っていない

メ:まちづくりとは、市がこういうふうにしたかったからと進めるものではなく、住んでいる者が一番大事と思っている。大学連携センターでされた下町デザイン講座は、地域住民の意見を聞かず、地域外の人が好き勝手なことを言っていて、疑問を感じる。旧村田邸の意義は、少しでも長く保存していくことで、そのことの重要性を若者に知っていただく施設にしてもらいたい。大きなイベントをやって人を集めたり、格好良いことを言うのは違うと思う

事:言われることは大事なことと思う

メ:下町デザイン講座に地域住民の応募がなければ、1軒1軒回って何度でも声を聞くのがまちづくりである

高校生のやりたいことも分かるが、伝建地区や町並保存はどうか、自分の故郷のことを学ぶことの方が、若者の将来のために大切なこと

事:言われる通りと思うため、そういった学びについても取り入れる必要があると思っている

メ:このような実現できそうな案に至るまで行政も設計士も大変だったと思う。市内外の人や高校生も加わった運営主体や利用方法などについて、昨年度の検討会のようなよい議論に戻れたら良いと感じる

事:整備内容は概ねこのようにしたいと考えているが、運営や細かな内容はこれから議論を深めたい。ある程度施設の自由度を残しておくことで、今後の議論を踏まえた様々な使い方ができるようにしていきたい

メ:はじめは何でもありで議論が始まったところ、方向転換をしていただきありがたい。市が伝建地区などで施設整備を計画する場合、地域住民の求めるものを考えず理想論だけで進めることはやめてもらいたい

旧村田邸とまちの体験交流館の住み分けも無く、縦割り行政を感じる

地域住民の意見を聞くことが重要である。若者活動拠点をこの場所に欲しがったのは誰か

文化財的価値があると当初から言い続けたが、方針転換に1年もかかった

もっと市役所内の連携を図るべき。今後、留意してもらいたい

事:市の対応が悪かった点については、率直にお詫び申し上げる

事:文化財課として昨年度からしっかり動けていれば避けられたことで、申し訳なかった

メ:点ではなく面で守っていく必要があるため、市役所だけで進めず、地域や景観町並保存会にも協議すべき

事:進め方の課題はあったにせよ、国の動向を捉えて事業化にこぎつけ、建物を公有化し、整備のうえ後世に残していける道筋が付いたことには、一定の評価をしていただけないかと考えている
従前の状態が続けば、いずれは建物の保存そのものが難しくなった

メ:実際に古い町並に住んでみえる人の意見は貴重と感じた。高山市は広く、住民も古い町並や高山祭のことを知っていることが当たり前ではない。地元の高校生でも知らない人が多いため、旧村田邸を通じて知ることで、地域に残りたいと心に響く若者が1人でも多くなれば良い。改修や運営の仕方も、そのようにしてもらいたい

メ:大学で他県等に出ても、地元へ戻ってまちの活動などに携わりたいという学生は居る

ホームページを工夫して、スマートフォンから施設予約できたり、部屋毎のクリック数を記録し人気度を把握するとともに、利用者の意見により使い方も変えていくなど、若者に合った仕組みも考えていけると良い

メ:保存、活用して建物を未来に残していくことは良いこと。建物に愛着を持ってもらえる人がどれだけ増えるかが重要。例えば法隆寺が人々に愛されて永らえてきたように、普通の木造住宅でも愛着を持って手をかけていけば同様になる。行政だけではなく、地域住民の方をはじめ建物に関わる人が誇りを持って運営していくことが重要

事:にぎわいが全てとは思っておらず、旧村田邸の価値を感じて、想いを持つ人に使ってもらえると良い

メ:地元の方々が必死に守ってみえることを知って大いに関心した。具体的な案が提示され、改めて気付くこともあったが、今後の議論で反映できる部分は、今後話し合っていきたい

HIDAKKO-PROJECT と市で実施した「ひだ高校生会議」に参加したが、思った以上に高校生達は地元で愛情を持っていると感じた。高校生達の意見をどれだけでも取り入れていただけたらと思う

メ:子ども達が健やかに育つまちになればと参加している。老田酒造や金亀館など素晴らしい建物が駐車場になってしまった。旧村田邸も地域の方が必死に守ってきたから残っているため、皆が協力して、良い使い方がしていけたらと考えている

事:老田酒造などは市としても残せるよう取組んだが、様々な事情で壊される結果となった。旧村田邸は残せるようになったため、残せなかった文化や歴史も含めて継承されていくと思っている
まちの体験交流館はお客さんが少ないとの意見もあったが、集客が全てとは思っておらず、訪れた人の多くに感動してもらうことが重要と思っている

メ:旧村田邸は 30 年近く空家だったが、今日まで残ったのは、風を通したり雪下ろしをしたり、ずっと維持管理してきた人があるためであることを知ってもらいたい。これを機会に、町屋が壊されそうな時は市民レベルでの運動ができるようなきっかけとなれば良い

メ:月1回、旧村田邸で鳩峯車組のお囃子の練習をしている。漏れる音色に感動する観光客もみえるし、灯りの夜景も素晴らしい。茶室から本座敷を通して蔵の前まで見通せる景色が良く、存在するだけで素晴らしい建物。保存してもらえることに感謝している

まゆ倉庫(市場)も町屋であったが、図面等を残すことはあるのか

事:有識者の調査では痕跡を確認しており、文章か図面かは未定だが、当初の町屋だった頃の記載はしていただく予定

町屋当時の建物の姿の復元までは考えていない

事:本日説明した内容などについて、了承いただけるということによろしいか

メ:(異論なし)

3. 閉会 北村課長

- ・整備の方向性を了承いただいたことへのお礼
- ・次回以降は、運営面などについても議論を深めていきたい

以上